

2 2018年

# wish times

旅立ちの日  
～さあ、新たな自分探しを始めよう～

卒寮生からのメッセージ p.2

2月号特別企画

・オスカー賞にむけて

～2017年の映画を振り返る～ p.3

文化のトビラ

・バレンタイン特集 p.4

～早稲田大学国際学生寮 WISH の若き寮長たち～

「The RAs of WISH」

9階RA

ナツミさんにインタビュー p.5



## Precious Memories

…この思い出とともに卒業する。

たった二年間のWISHでの寮生活。  
かけがえのない友達や、数々のイベント、何気ない日々。  
卒業生にとって、振り返ってみるとすべてが大事な「思い出」。  
そんなWISHでの生活の中でのそれぞれの思い出を、すこし紹介します。



僕は地元・親元を離れたくて仕方のない人間でした。理由は、謎です。

ただ、WISHに入寮してからというもの自然と孤独を感じるようになりました。寮内に友達はいました。サークルの仲間も。ただ、家族や地元が恋しくなりました。それが一番の思い出です。良い思い出です。お陰で家族や地元を好きになれたから。

僕のWISHでの一番の思い出は「5階」というフロアでRAインターンをさせてもらったことです。インターン期間中にできるだけ多くの寮生とふれ合うことをこころがけ、日々の生活のことやWISHについて思っていることなど様々な話をしました。人によって多種多様な意見があって、こういった角度から見た考えもあるのだということに気づかされたりもしました。的確なアドバイスをしてくれた友達も多数おり、改めて周りに恵まれていたなと思います。そういった点で5階寮生には感謝の気持ちでいっぱいです。今回の経験で自分自身が少し成長できたと感じられた点が僕の中での思い出です。

※RAインターン：RAになる選考において候補生が他階の課題を解決する選考過程のこと。

WISHでの一番の思い出は、リビングやキッチンでくだらないことから青臭い話を、夜遅くまで語り合える友ができたことです。花火大会とかSIとか色々ありましたが、語れる友の存在が一番大きいです。

WISHでの思い出は人との関わりが格段に深く、そして広がったことです。自分のユニットは清潔さと居心地の良さを追求した空間にしたので、フロアの子たちからは「橘ホテル」と呼ばれていました。違うフロアから遊びに来てくれたり、ほぼ毎日顔を出してくれる子がいたり、ミーティングの場所に使ったりとWISHの寮生の集合場所のようになっていたのが嬉しかったです。よなよなふざけた話や真面目な話をしてとても濃い時間を過ごしていました。ここで培った人間関係は今後ずっと続いていくと思います。

WISHには楽しい思い出がたくさんありますが、一番感動的な思い出としたら誕生日パーティーを言わざるを得ません。4月入寮したばかりの新寮生たちが集まって誕生日の主人公を祝ったことをはじめとして、1年間毎月多くの寮生の誕生日を祝いながら親しくなったのです。おかげで今も親しい友達をたくさん作ることができました。

WISHで暮らした2年間の1番の思い出は決められません。ただ、毎晩部屋に帰れば誰かがいて夜遅くまで語り合ったこと、遊んだこと、ご飯を食べたこと、映画を観たこと、そんなことの全てが私の大事な思い出です。





## 2月号特別企画

### 2017年 これだけは押さえるべし！ 名作映画特集

2018年が始まって1か月が経ち、徐々に2018年を生きる実感が湧いてきたWISHTIMES編集陣。今後の発行計画を立てていると、とある国際的大イベントに目が留まった。3月4日：第90回アカデミー賞である。思い返せば2017年の映画も実に面白いものが満載であった。発表される度に話題を呼ぶスターウォーズの最新作とか、ディズニーの野獣のお話とか、これまでと一風変わって感動路線に舵を切ったポケモンとか、とてつもないロングセラーを飛ばした君の名は。とか。えっ、君の名は。は2016年の映画だって？これは失敬。

何はともあれ、1年の振り返りというのは何事にとっても非常に大切である。さもないと何年に何があったのかわからなくなってしまうことになる。編集陣オススメの2017年映画をここに紹介する。WISHに住んでいるならば必見だ。

あっ、WISHでたまに土曜日に開催されている「Saturday Night Theater」っていう「映画をみんなで見よう！」って企画あるじゃない？あれを担当してるRAにこの記事を紹介してあげてよ。そうしたらここに載ってる映画が選ばれて上映されるかもしれないよ！

参考写真：http://stat.ameba.jp



<https://7net.omni7.jp/detail/1400678726>

「帝一の國」主演は私も大好きな俳優で、auのCMで鬼ちゃん役としても人気な菅田将暉さんです。漫画が原作で、もともとファンも多い作品なのですが、私は映画で初めてストーリーを知りました。生徒会選挙に命をかける主人公赤場帝一の周りで繰り広げられる学園政権コメディ作品となっています。コメディ映画なので、基本的には気楽にクラクラ笑いながら見れますし、一方で苦悩や葛藤を繰り返す人間らしさも描かれていて、意外と感動的なところもあって見ええがある作品です。とにかくくだら面白いので、ちょっと時間があつたら友達と気軽にみるくらいにちょうどいいと思います(笑)ぜひ見てみてください！

By 穂

「美女と野獣」2017年に待望の公開を迎えたこの作品。ベル役はハリポターのハーマイオニーを演じ、日本でも有名なエマ・ワトソンが。「美女と野獣」という物語自体はご存知の人がほとんどと思いますが、彼女の演技と美しい歌声が映画を一層美しくしています。心を通わせるベルと野獣がボールルームで踊るシーンではCGをフル活用、そして臨場感のあるアラン・メンケン作曲の音楽によってまるで自分がその世界に入り込んだような気分になります。ディズニーの実写化映画においても初めてディズニー自らが制作・配給を行ったことで、ディズニーの自信作といえるでしょう。非常に見ていて心が美しく、晴れやかになる作品です。皆さん是非観てみてください！

By 美咲



[https://online.samantha.co.jp/layout/feature/beauty\\_and\\_the\\_beast.html](https://online.samantha.co.jp/layout/feature/beauty_and_the_beast.html)



[http://movies.wikia.com/wiki/Jumanji\\_-\\_Welcome\\_to\\_the\\_Jungle](http://movies.wikia.com/wiki/Jumanji_-_Welcome_to_the_Jungle)

Jumanji: Welcome to the Jungle

As 2018 is another year filled with the unknown and full of surprises, it wouldn't hurt to look back at some of the best movies of 2017. Released on December 20, 2017 (US), Jumanji: Welcome to the Jungle evokes memories of the first installment released in 1995 for many children who have now become adults. The movie is action-packed and fast-paced, starring Dwayne Johnson, Kevin Hart, and Jack Black, and the comedic trio promise laughter and ridiculous jokes. Jumanji: Welcome to the Jungle follows four teenagers who come across a video game and is sucked into the world of Jumanji, having to defeat the power-hungry hunter in order to return to reality. The height difference between Dwayne Johnson and Kevin isn't even the funniest part of the movie, and that says a lot. The film also pays tribute to Robin Williams, a star of the original Jumanji film, with a carving of his avatar's name. Jumanji: Welcome to the Jungle has received positive reviews generally, with critics describing it as "a pleasant surprise". If you've ever imagined Jack Black as a whiny teenage girl who's really interested in the male anatomy, this movie is perfect for you!

By Elaine

Star Wars: The Last Jedi

As the highest-grossing film of 2017, Star Wars: The Last Jedi was considered as the best Star Wars film since The Empire Strikes Back. The Last Jedi was the second installment of the Star Wars sequel trilogy. Starring Mark Hamill, Carrie Fisher, Adam Driver, Daisy Ridley, and John Boyega, the film continues the story of Rey and her discovery of the Jedi Master Luke Skywalker, who is in his hideout. Rey also develops her newly discovered abilities with Luke's guidance. Meantime, the Resistance prepares to battle against the First Order, as Kylo Ren seeks to defeat the Resistance once and for all. In my opinion, the highlight would be the romantic development of the two characters, Kylo Ren and Rey. They are the opposites of each other: Kylo having qualities of the dark, and Rey having the qualities of the light. Therefore, at the end of the story, we can see the dynamics between them getting stronger. Sadly, this movie was a tribute to Carrie Fisher, who made her final appearance as Princess Leia. Overall, The Last Jedi has received positive reviews from critics, who praised the movie for its funny, emotional, and suspenseful plot. As they say, "May the force be with you!"

By Serena



<http://www.heromachine.com/2017/12/17/reviews-star-wars-episode-viii-the-last-jedi/>

## 『文化のトビロ』

Feature

# JAPAN



text: Natsuka Shimizu, Fu Zezheng



## How is the Valentine's Day in Japan ?

FU: 2.14 is Valentine's Day. How is Valentine's Day special in Japan?  
I will interview a Japanese boy.

Natsuka: shall we start? Sure.

FU: Do the majority of Japanese celebrate Valentine's Day?

Natsuka: Yes, I think so. Many young people and some middle  
—aged men and women have some celebrations on 2.14.

FU: Do Japanese have some special ways of celebration?

Natsuka: Yes, usually Japanese girls will give out different kinds of chocolate  
on that day. There are three kinds of chocolate.

FU: Three kinds!

Natsuka: Yes, the three types are 友チョコ, 義理チョコ and 本命チョコ.  
友チョコ is chocolate given among friends as symbol of friendship.  
Such chocolate can be given to both girls and boys. Some high school  
girls will exchange 友チョコ with each other.

FU: I see.

Natsuka: While 義理チョコ is usually popular among working women. They  
give 義理チョコ to males who take care of them at working place  
such as their boss or male colleagues.

FU: Then what about 本命チョコ?

Natsuka: Well, this one is most related to Valentine's Day. Girls give 本命チョコ  
to the boy they like. Among all three kinds of chocolate, 本命チョコ  
is usually of best quality, sometimes even made by girls themselves.  
The most popular boy in school sometimes can receive tens of boxes  
of chocolate!

FU: What about boys then? Do they just need to wait for chocolate?

Natsuka: Haha, not really. Boys need to give cookies or candies as returning  
gifts on 3.14, so called the White Day. And if boys return  
gift to a 本命チョコ, that means the start of a new romantic relationship.

FU: It takes a month for boys to consider!





世間一般では3月が別れの時期だが、早稲田大学国際学生寮WISHでは2月からである。秋学期の期末試験が終わるところからポツリポツリと卒寮生が退寮していく。RAも同じく卒寮シーズンであり、悲しくも笑顔で同志たちを送り出している。

今期は2014年オープン当初に新1年生として入寮した後、RAとして4年間WISHですごした所謂「純WISH1期生」が卒寮する。大学生活の大部分をこの寮に費やした者たちの今後の活躍が楽しみだが、頼れる先輩であり友人のRA達がいなくなるのはやはり寂しい。今回のインタビューはWISH1期生であり、この度卒業する9FRAナツミさんにWISHと早稲田での4年間を振り返って頂いた。

Q：宜しくお願ひします。まず最初に軽く自己紹介をしていただけますか？

ナツミ：WISH 9 階RAのナツミです。国際教養学部4年生で、2018年卒です。WISH1期生で、Jr.RAを経験したあとに1年留学し、その後WISHにRAとして戻ってきました。

Q：ありがとうございます。それでは早速質問させていただきますが、WISHに長い間いた中で印象に残ったことや経験などありますか？

ナツミ：4年間思い返すと大勢の人と関わったな、と思います。RAと寮生含め数百人規模でつながりを持てたことは貴重な経験ですね。

Q：先程ナツミさんはJr.RAから留学を経てRAになったと仰いましたが、どうして戻ろうと思ったのですか？

ナツミ：寮生だった私からみてRAが楽しそうだったのはありますね。あとは、WISHをただの生活空間ではなくコミュニティとして捉えていたのがありますね。留学行く前は「帰国したら別のコミュニティに行こうかな」と思ったけど、やっぱり皆のところに帰りたいたいという思いが強かったです。安心できるコミュニティがあるからRAとしてもどりました。

Q：元々どのフロアに住んでいたんですか？

ナツミ：寮生からRAまでずっと9階です（笑）でも同じ感じだった学期はなくて、学期ごとに色々な人がきて、静かだったり元気が一杯あったり…やっぱりフロアを中心になる寮生が変わっていくと雰囲気も変わるし、先輩寮生たちの影響を新寮生は受けつつ自分たちのカラーをだしつつみたい…まあ私は静かな寮生だったけど（笑）

Q：WISHの中で特に印象に残っているイベントとかってありますか？

ナツミ：Jr.RAの時に担当者として参加した七夕イベントですね。お化け屋敷をやるうとしたらすごいドタバタして、楽しいよりはイベント運営の勉強になりましたね。SIプログラムでいうと、チーム対抗で特殊な条件下でパズルを解こうとしたSIかな。勉強にもなったし、ゲーム感覚で楽しめました。

Q：あーあのSI僕も好きでした！

ナツミ：就活中にSIがどれほど役に立つものか分かるで（笑）。

Q：WISHに入寮してから、そして寮生活を通じて変わった点とかありますか？

ナツミ：入寮してすぐのころは映画を大量にみました（笑）入寮してからしばらくは内向的であまり寮のイベントとか遊びとかしてなかったけど、だんだんイベントや外食とか行き始めて。1年生から4年生まで同じ生活パターンだった時期はなかったです。

Q：僕も入寮したての頃はトガッていましたけど、丸くなったと思います。寮生活すると変わりますよね…最後に在寮生に一言ありますか？

ナツミ：1、2年生の頃は想像しにくいかもしれないけど、寮生活って多分いまだけだから何で寮にいるかを考えて、せっかくWISHという環境にいるんだから活かしたほうがいいと思うな！